

トリプルアール/95年、練木亮輔 (vo)、須崎清太郎 (g) の2人で結成。今年、ダンス&コーラスのUNIを正式メンバーに迎えてデビュー。毎週日曜16:30よりNHKホール脇の遊歩道にてライブ取手中。



に出るつとんはしとはのかはイ つていう…興味半分、不安半分って感じでしたね。でも、実際やりはじめてみたら、いつもの自分がいなくなるってうか(笑)、開放感が味わえますね。今はまだ、一回一回のストリートライブが私にとっては勉強ですけど」

しまじゅりしつひにんたつし



CHECK!

「We're champ」
ソニー
SRCL 4710
発売中



チャミグリ

取材・文●須田瑞穂
ライブ撮影●関山一也

ストリートは自分を試すには最適な場所だと思いますね

チャミグリがストリートでライブを始めたのは、まだそれがもの珍しかったころ。あれから数年が経った今も、彼らは変わらずストリートで歌うのです。

井手「最初は仕事の合間に“ちょっと人前でやりたいね”っていう軽いノリでやってたんですよ。それが最近では“やらなきゃいけない”って感じになってきて…。それはストリートライブの本質とは違うんじゃないかなって。ギターとベース鳴らせる状況があったときに、いきなりやっちゃうのが正しいストリートライブのあり方だと思う。

ときどき来てくれる知り合いのミュージシャンたちは、みんな本質をとらえて、“音楽やりたいから井手うちたちのトコ行こう”みたいなノリで遊びに来るんですよ。もっとプロの人たちもやればいいのに。こんな楽しいものをアマチュアに独り占めさせておくのはもったいない！ だから、“ストリートやれてほしいや。10年続けられたら食い口としてはスゲーしなあ”とか思うこともありますし(笑)。まあ、やれるもんならデカイとこでもやってみたいと思うんですけどね。でも、売れてもストリートライブは続けたいで

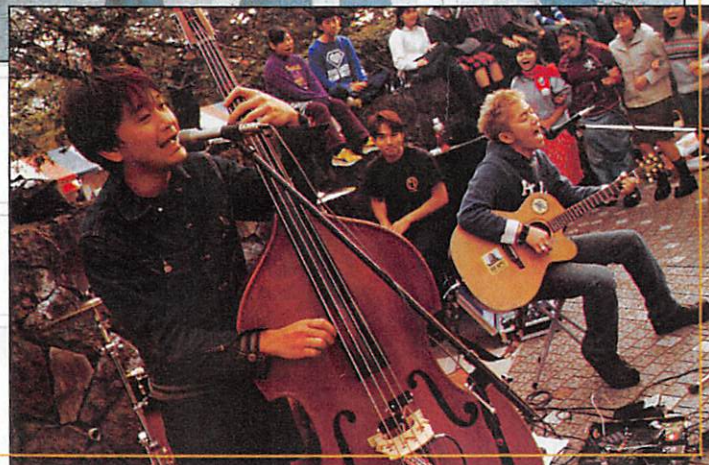
すね。できれば今と変わらないスタジオで。それで、ときどきライブハウスでやれば」

高砂「今でこそ“ストリート”が、2人でやることの再認識の場であったり、練習も兼ねて人前でやってみたいところもあるんですけど。やっぱり、ライブハウスとかだと型ハマっちゃうというか、一応段取りがあるじゃないですか。照明やPAさんの手前であったり、始まる時間も終わる時間も決められてるし。あとは“話題作り”みたいな部分もチョットはありますけどね(笑)。ホント、気楽にできて面白いですよ、ストリートライブは。“自分を試す”っていうのには最適な場所だと思うんで、やりましょう！」



CHECK!

「思春期」
DAIKI
CGCL-1
発売中



ちゃみぐり/97年結成の井手功二 (vo, アコースティックギター) と高砂圭司 (cho, ウッドベース) の2人によるユニット。現在も毎週日曜日の午後、代々木公園周辺でストリートライブを行なっている。MBSの音楽番組「ザ・個室関係」(毎週木曜25:30~) も要チェック!